

こういきれんごう

H24.5
No.24

久慈広域連合消防本部
高機能消防指令センター

項目	内容
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...
11	...
12	...
13	...
14	...
15	...
16	...
17	...
18	...
19	...
20	...
21	...
22	...
23	...
24	...
25	...
26	...
27	...
28	...
29	...
30	...

項目	内容
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...
11	...
12	...
13	...
14	...
15	...
16	...
17	...
18	...
19	...
20	...
21	...
22	...
23	...
24	...
25	...
26	...
27	...
28	...
29	...
30	...

項目	内容
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...
11	...
12	...
13	...
14	...
15	...
16	...
17	...
18	...
19	...
20	...
21	...
22	...
23	...
24	...
25	...
26	...
27	...
28	...
29	...
30	...

項目	内容
1	...
2	...
3	...
4	...
5	...
6	...
7	...
8	...
9	...
10	...
11	...
12	...
13	...
14	...
15	...
16	...
17	...
18	...
19	...
20	...
21	...
22	...
23	...
24	...
25	...
26	...
27	...
28	...
29	...
30	...

高機能消防指令センター運用開始

3月21日、久慈市防災センターに最先端の機能を備えた高機能消防指令センターを整備し運用を開始しました。この新しい施設は、119番通報を受信すると瞬時に通報場所が特定でき出動時間が短縮されます。また、ソフトウェアやメールによる119番通報も可能になり利便性が向上しました。

- ◇工期 平成23年5月31日～平成24年3月21日
- ◇事業費 3億6,645万円

主な掲載内容

- 平成24年度予算の概要
- 介護保険料を改定
- 新・火葬場建設に着手

平成24年度 予算

予算総額

93 億 2,071 万 3 千円

一般会計

37 億 9,686 万 2 千円

介護保険特別会計

55 億 2,385 万 1 千円

久慈広域連合予算は、2月23日に招集された第4回久慈広域連合議会定例会で一般会計及び介護保険特別会計ともに可決されました。一般会計予算は37億9,686万2千円で、前年度比3,521万9千円0.9%の微減となりました。また、介護保険特別会計は55億2,385万1千円で、前年度比3億3,134万5千円6.4%の増となりました。一般会計と介護保険特別会計の予算総額は93億2,071万3千円となります。ここでは、平成24年度各会計予算の内訳をお知らせします。

一般会計

一般会計は、広域連合が実施する基本的な事業に充てる予算です。

歳入の主なものは、広域連合を構成する市町村（久慈市、洋野町、野田村及び普代村）からの負担金で、全体の92.9%を占め35億2,703万円を見込んでいます。次いで、し尿取扱手数料や東日本大震災津波で発生した災害廃棄物を含むごみ取扱手数料などとなります。

歳出の主なものは、ごみ焼却施設やし尿処理施設の補修工事のほか、昨年度に続く新・火葬場整備に係る建設事業費や東日本大震災津波で発生した災害廃棄物処理などのための衛生費が全体の42.9%を占め16億3,010万7千円を見込んでいます。次いで、消防本部や消防署の管理のための消防費、介護保険のための（介護保険特別会計への繰出金等）民生費と続きます。

歳入

分担金及び負担金	35億2,703万円	構成市町村からの負担金 久慈市19億7,798万8,000円 洋野町 9億6,547万8,000円 野田村 3億1,648万5,000円 普代村 2億6,707万9,000円
使用料及び手数料	2億1,662万4千円	し尿取扱手数料、ごみ取扱手数料（災害廃棄物を含む）など
国庫支出金	143万円	し尿処理施設整備準備事業に係る国の交付金
財産収入	2,977万7千円	古紙、アルミ缶等の資源物売払収入
繰越金	1千円	平成23年度からの繰越金
諸収入	2,200万円	県代行による災害廃棄物処理受託収入など
合計	37億9,686万2千円	

歳出

議会費	79万9千円	議会運営のための経費
総務費	6,656万3千円	庁舎使用料、事務費などの広域連合運営経費
民生費	8億554万6千円	介護保険特別会計への繰出金など
衛生費	16億3,010万7千円	火葬場建設費、ごみ焼却場及びし尿処理場の管理運営経費
消防費	11億7,951万2千円	消防本部、久慈消防署（分署）の運営経費
公債費	1億1,133万5千円	広域連合が借り入れた借金の元利償還金など
予備費	300万円	
合計	37億9,686万2千円	

介護保険特別会計

介護保険特別会計は、一般会計と区別して経理している介護保険事業を実施するための予算です。

歳入の主なものは、第1号被保険者（65歳以上の方）の保険料や一般会計からの繰入金（広域連合を構成する市町村からの負担金）、支払基金交付金（40歳以上の第2号被保険者の保険料）、国・県からの負担金などとなります。また、年々増加傾向にある保険給付費に伴い、本年度から向こう3年間の介護保険料の基準月額を、4,770円に引き上げられることとなります。

歳出の主なものは、ホームヘルパーなどの利用に係る居宅サービス給付、老人ホームなどの利用に係る施設サービス給付の保健給付費で、全体の95.9%を占め52億9,855万4千円を見込んでおります。本年度の保険給付費は、要介護認定者の増加に伴う介護サービス利用の伸びや地域密着型介護サービス事業所などの整備に伴う保険給付費の増額が見込まれることから、前年度比3億5,028万3千円7.1%の増となっています。

歳入

保険料	8億9,145万6千円	第1号被保険者（65歳以上の人）からの介護保険料
使用料及び手数料	9万円	介護保険料に係る督促手数料
国庫支出金	14億3,021万4千円	介護給付費に係る国からの負担金
支払基金交付金	15億5,804万2千円	第2号被保険者（40歳～64歳の人）からの介護保険料
県支出金	8億2,971万5千円	介護給付費に係る県からの負担金
財産収入	19万2千円	介護給付費準備基金の預金利子
繰入金	8億1,409万1千円	一般会計、介護給付費準備基金からの繰入金
繰越金	1千円	平成23年度からの繰越金
諸収入	5万円	延滞金、雑入など
合計	55億2,385万1千円	

歳出

介護総務費	7,344万円	介護保険料徴収や要介護認定に係る事務費
保険給付費	52億9,855万4千円	居宅介護サービス給付費、施設介護サービス給付費
地域支援事業費	1億4,800万円	構成市町村や介護従事者の行う介護予防事業などに係る経費
基金積立金	19万2千円	介護給付費準備基金への積立金
諸支出金	66万5千円	介護保険料返還金など
予備費	300万円	
合計	55億2,385万1千円	

基準額月額 3,900 円を 4,770 円に変更

介護保険制度は、老後の介護を社会全体で支える仕組みです。平成 12 年から始まったこの制度は、今年で 13 年目を迎えます。

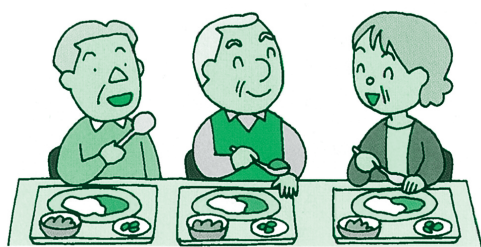
介護保険料は、介護サービスの利用見込みなどに基づき、3 年ごとに見直しをすることとなっています。広域連合では、今後 3 年間の介護サービス給付費などの増加に対応できるように介護保険事業全体の見直しを行い、介護保険料基準月額を 4,770 円に引き上げすることにいたしました。

介護保険料を改定

急速に少子高齢化が進む中、全国の高齢者人口（65 歳以上）は、平成 22 年 10 月現在で 2,925 万人まで上昇し、全人口に占める高齢者割合は 23・0% となっています。久慈市、洋野町、野田村及び普代村を合わせた広域圏の高齢化率は 27・1% を示し、平成 27 年度には 30・7% となり、およそ 3 人に 1 人が高齢者となる見込みです。

65 歳以上の第 1 号被保険者の介護保険料の算定は、第 5 期介護保険事業計画期間である平成 24 年度から平成 26 年度までの今後 3 年間の介護サービス給付費の見込額などから介護保険料必要額を積算し、被保険者数から介護保険料基準月額を算出すると 5,140 円と算定されます。しかし、保険料の上昇を抑制するため、介護給付費準備基金や県の財政安定化基金を取り崩しすることにより、介護保険料基準月額は 4,770 円になります。

また、広域連合では地域の実情を加味し、収入が一定額以下の被保険者の方々への負担が重くなりすぎないように、所得に応じた 8 段階の保険料段階を設け、各段階の負担割合を下げる調整を行いました。



65 歳以上の人の介護保険料

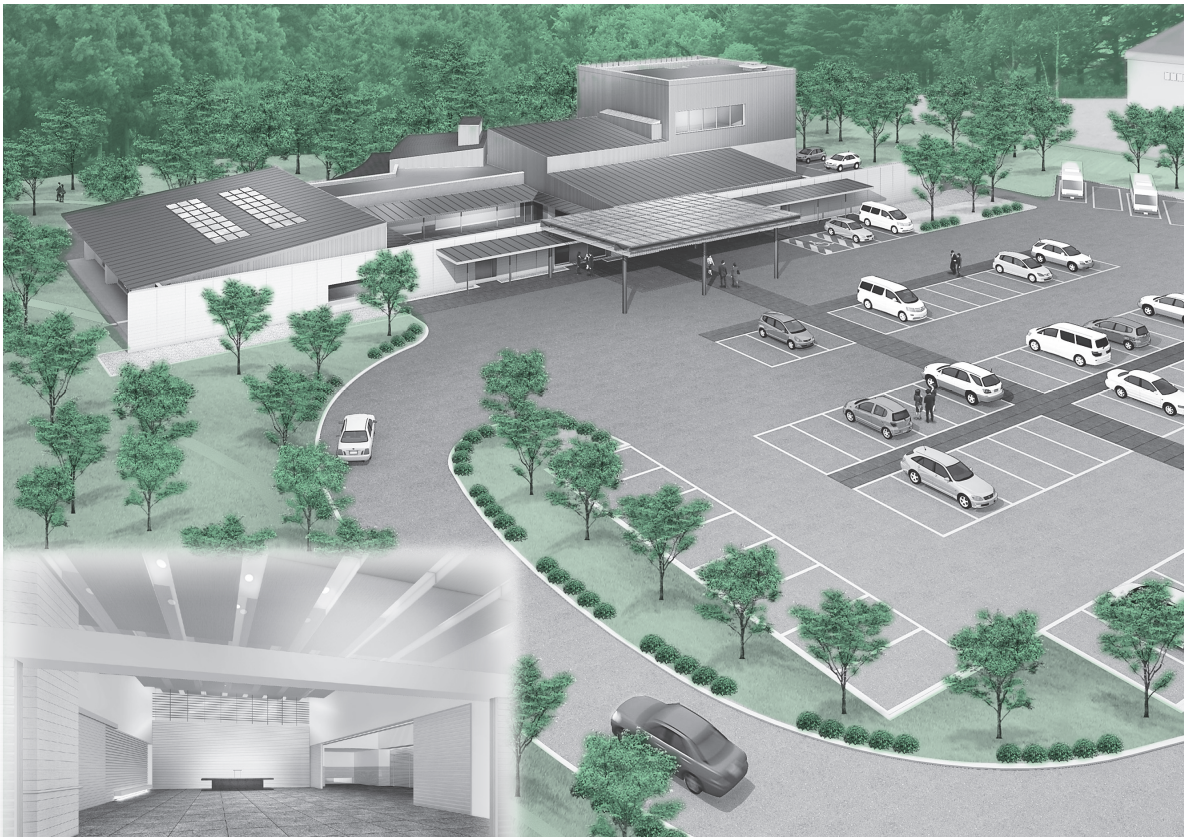
保険料段階	第 4 期計画 (改定前)		第 5 期計画 (改定後)		該当条件
	割合	月額	割合	月額	
第 1 段階	0.50	1,950 円	0.50	2,380 円	生活保護の受給者又は、世帯全員が市町村民税非課税で、かつ本人が老齢福祉年金受給者
第 2 段階	0.60	2,340 円	0.60	2,860 円	世帯全員が市町村民税非課税で、かつ本人の公的年金等収入と合計所得金額の合計が 80 万円以下
第 3 段階	0.70	2,730 円	0.70	3,330 円	世帯全員が市町村民税非課税で、かつ本人の公的年金等収入と合計所得金額の合計が 80 万円超
第 4 段階	0.85	3,310 円	0.85	4,050 円	本人が市町村民税非課税で、世帯に課税者があり、かつ公的年金等収入と合計所得金額の合計が 80 万円以下
基準段階	1.00	3,900 円 (基準額)	1.00	4,770 円 (基準額)	本人が市町村民税非課税で、世帯に課税者があり、かつ公的年金等収入と合計所得金額の合計が 80 万円超
第 5 段階	1.15	4,480 円	1.15	5,480 円	市町村民税課税で、かつ合計所得金額が 125 万円未満
第 6 段階	1.20	4,680 円	1.20	5,720 円	市町村民税課税で、かつ合計所得金額が 125 万円以上 190 万円未満
第 7 段階	1.45	5,650 円	1.45	6,910 円	市町村民税課税で、かつ合計所得金額が 190 万円以上

介護保険サービス利用料について

東日本大震災で被災された被保険者の方の介護保険サービス利用者負担額について、平成 24 年 9 月 30 日までのサービス利用分が免除となります。詳しくは久慈広域連合介護保険課またはお住まいの市町村の介護保険担当課までお問い合わせください。



新・火葬場建設に着手



国道側から見たイメージ

告別室のイメージ

新・火葬場の建設は、現施設が建築後40年余を経過し、施設・設備の老朽化や交通アクセスの問題など多くの課題を抱えていることから、施設の抜本的・全面的な整備を進めることとし、用地買収などの関連事業を進めてきました。

新・火葬場は、平成25年度の中ごろの供用開始を目指して、建物本体などの建築工事に着手しました。建設費は約11億円を見込んでいます。

建設地は久慈市夏井町鳥谷地内の国道45号線沿いで、敷地面積が約15000平方メートル、鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）、地上2階建て、延べ床面積は約1600平方メートルとなっています。これは、現施設と比べると敷地面積で約2.5倍、建物で約4倍の規模になります。また、建物は敷地の西側（国道進入口奥）に配置し、周囲は既存の野球場のフェンスを活用した盛土を整備するなど、周囲からの視線を考慮した設計としています。

建物は、告別室、火葬炉（3基）、集骨室などを整備する火葬棟と、待合室などがある待合棟から構成されます。待合棟には、待合ロビー、待合室（3室）などを整備します。また、臭いや煙の出ない最新の技術と太陽光発電設備やLED照明の採用など、環境にも配慮した施設としています。駐車場には、乗用車76台分とマイクロバス4台分を整備します。

ごみの分別にご協力を

ごみ処理施設では、ごみ処理や設備の補修などに年間約4億5千万円の費用を使っています。家庭から出されるごみの減量化のため「生ごみの水切り」や「分別の徹底」などが必要です。

また、きちんと分別されないごみを処理し設備が故障する場合がありますので、ごみの減量化と適切な分別にご協力をお願いします。

久慈広域圏の人口と世帯数 (H 24.4.1 現在)

(単位：人・世帯)

市町村名	人口	世帯数
久慈市	37,488	15,183
洋野町	18,885	6,838
野田村	4,641	1,639
普代村	3,001	1,116
合計	64,015	24,776

◎編集・発行

久慈広域連合

事務局総務企画課

〒028-0056

久慈市中町一丁目67番地

久慈市役所分庁舎2階

☎0194-61-3344

http://www.kuji-kouiki.jp/

問い合わせ先

総務企画課 0194-61-3344
 介護保険課 0194-61-3355
 衛生課 0194-66-9090
 久慈消防署 0194-53-0119
 種市分署 0194-65-6119
 大野分署 0194-77-4119
 山形分署 0194-72-3119
 野田分署 0194-78-2119
 普代分署 0194-35-2119



再生紙と大豆油インクを使用しています。